

# タイサンボク



冬  
↓



夏  
↑

# タイサンボク

モクレン科

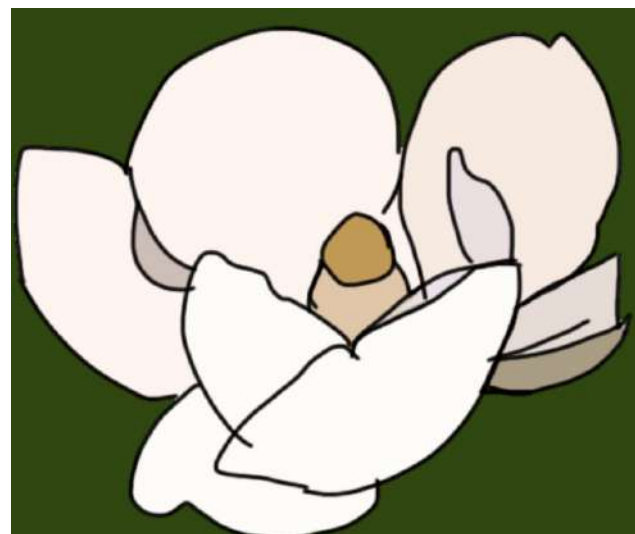
タイサンボクの葉は、大きくてツヤのあります。花はとても大きくて白い花がさきます。この花は、とてもいい香りがします。

花の大きさは10~20cm。花が上向きに咲き、花のさくじかんは1~2日とみじかいいですが、芳香があり、さきはじめめはとくにかおりがつよいです。

実  
↓



これか  
花だよ。



# いいにおい タイサンボク

タイサンボクの葉っぱの長さは、やく15cm~25cmにもなり、日本かくちでみつかります。7月ごろにえださきに10cm~17cmの花がさきます。



## 名前の由来

タイサンボクの木が大山のような大ききさだったから大山木です。

## 大山木のれきし

大山木の木は(めいじ)というむかしな時代の20~30年代に植えられて、日本でも古いれきしをもっています。

## きせつのへんか

寒い時期になると、つぼみがけがわでまもられて、あつくなるどけがわをぬぎすてます。夏には、はながさいてさきはじめはとくにかおりがつよいです。

いいにおいがするね強いかおり！

しよ夏にさく白い花は、直けい20cmにもなり、国内で見られるじゅ木の花としてはさいだいきゅう!あまさの中にベルガモットオレンジにいたさわやかなかおりがします。メロンのようなかおりもします。花は6月から7月まで少しずつさいて10月から11月までに完全にさき終わります。花のじゅみようは2日ほどしかありません。しかし、かれたあともさわやかなかおりがします。

## 注意！

タイサンボクは、どくはありませんが、食べるとにがくておいしくありません。みなさんたべないほうがいいです。

たべないで!



# タイサンボク



**どんな木** タイサンボクはモクレン科モクレンぞくです。別名でダイサンボク、ハクレンボクとも呼ばれています。ときに高さ20mになる大きな木です。漢字で書くと「泰山木」「大山木」と書きます。また、花の形が※盞(さかずき)から「大盞木」と書いてタイサンボクと読む、と言うせつもあります。 ※さかずきとはお酒を飲む小さなうつわのこと。



**れきし** 北アメリカから日本には明じ時だいにやって来ました。名前の由来は、はっきりしていませんが大きな花や葉をつけ大きな木になるすがたを大きな山にたとえたすがたから名づけられたと言われます。



**葉** タイサンボクは葉の表面がツルツルとしていて光沢があるのでとくちょうです。葉のうらがわは茶色く、少し毛羽立ったような手ざわりがとくちょうです。

**花** 大きい花びらが9まいあります。花のにおいは、レモンのようなさわやかな香りがしますが、よくかいでみると、まだみじゅくなかたいメロンのようなにおいがします。かい花時は5~7月です。花の色はにゆう白色です。 乳白色 ○

**感想** タイサンボクの葉をさわってみたいです。しゅうタイサンボクでマグノリアのリースを作れることを初めて知ってびっくりしました。 そうた花のにおいをかいでみたいです。 まや

**実** 果実は、長だ円形です。初めはあわい黄緑色で毛におおわれていて種のはいったふくろが開く直前にはつぼみのように見えます。



**来る鳥** ヤマガラとオオルリ(わか鳥)が実を食べに来ます。

